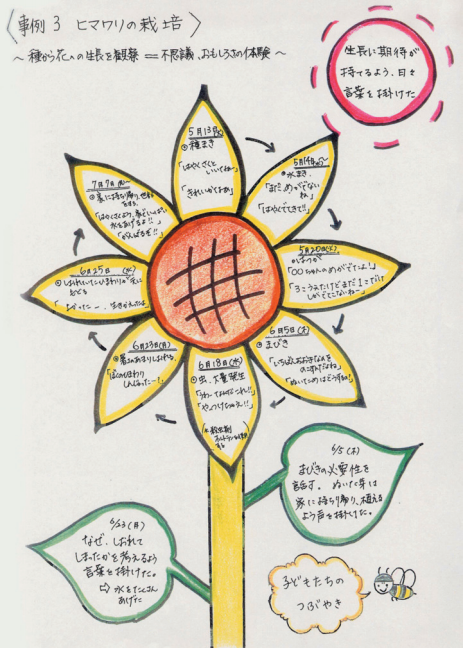
# 7. 実践してわかったこと　ー確実に科学する心が育っているー
## 加曽利幼稚園（千葉県千葉市）

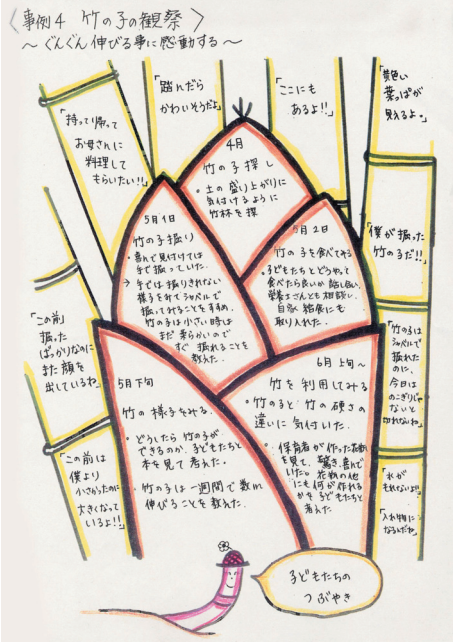
「科学が育つ芽」という視点で「ヒマワリ」「竹の子」の実践を分析すると、科学の心が育つ教材であることがわかった。教材を８つの視点で見直すことにより、保育者の意識が変わり、指導にきめ細やかさが生まれてきた。

### ●実践の様子

①ヒマワリの栽培（年長）



②竹の子の観察（年長）




### ●実践してわかったこと

①ヒマワリの栽培（年長）

←科学が育つ芽→　←科学の心【評価】→

| | 疑問をもつ | 触れる | かく | 見る | 聞く | 味わう | 伝え合う | 感動する | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ・一人ひとりが自分の植木鉢で花を育てるということで、自分のものという意識が芽生え、花を育てていくうえでも責任感が生まれ、植物に対する思いやりが育った。 | | ◎ | ○ | ○ | | | | ○ | 好奇心の芽生え【気付く】 |
| ・花の生長の様子に気付くと共に、生長するためには世話をすること（水やり、まびき等）が大切ということに気付くことができた。 | ○ | ○ | | ○ | | ◎ | | | 興味・関心の深まり【感じる】 |
| ・芽がでたときや花が咲いたとき、うれしさや感動を味わい、植物の生長を期待する心が育った。 | | | | ○ | | | ○ | ◎ | 言葉・表現の成長【共有】 |
| ・植物の成長に関して友だちとの会話が増え、言語の発達や友だちとのかかわりに成長が見られた。 | | | | | ○ | | ◎ | | 自然の不思議さに驚き、感動する心【体験→感動】 |

②竹の子の観察（年長）

| | 疑問をもつ | 触れる | かく | 見る | 聞く | 味わう | 伝え合う | 感動する | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ・竹の子掘りに大変興味をもち、楽しみながら掘っていた。 | | ◎ | | ○ | | | | ○ | 好奇心の芽生え【感じる】 |
| ・掘った竹の子で料理（竹の子ご飯）を十分に味わい、喜んでいた。 | | | ○ | ○ | | ◎ | | | 言語、表現の成長【共有】 |
| ・早く成長する竹の子に気付き、「なぜこんなに大きくなるのか」という疑問に思うことができた。 | ◎ | | | | ○ | | ○ | ○ | 植物の生長に驚き、感動する心【体験→優しい心】 |
| ・竹を切って花瓶にしたことで竹でさまざまなものを作ることができることを知り、好奇心を養うことができた。 | ○ | ○ | | ○ | | | ○ | ◎ | 収穫の喜び【自信】 |

### ポイント

自分たちの日々の実践を「科学が育つ芽」という視点から具体的に分析し、その見直しを図っています。加曽利幼稚園は350名を超える大規模園ですが、園全体で客観的に保育を見直すことで、個々の保育者の保育がきめ細やかになるだけでなく、次に新たな実践課題を見つけることにもつながります。